

立命館生協OIC 選挙企画



[平和]

取り組み概要

日時：1/13(水)、14(木)
場所：立命館生協OIC
参加者数や組合員の反応：
2日間で151人の組合員が参加し、参加者の約8割が選挙に関心を持ったと回答した。

背景や概要：近年、若者の選挙の投票率が低いことが問題視されている。そこで、そもそも選挙の仕組み・投票の仕方を知らない学生に焦点を当て、体験型の企画を開催した。

選挙を楽しく学び、身近なものに

POINT.1

店舗の商品で疑似選挙体験



選挙の仕組み・投票の仕方を知り、模擬体験をすることで、実際の選挙への参加を促す選挙企画が実施されていました。ここでは、Meal Shopで取り扱う商品を6つに分類し、6つの政党に見立てた模擬選挙を行いました。

この選挙で選ばれたものは実際に値引きされる公約となっており、実際の選挙さながらとなっていました。選挙が自身の生活に影響を与えることを楽しく理解できる取り組みとなっています。

POINT.2

選挙に必要な知識を提供

模擬選挙に参加した組合員には、実際の選挙に関する情報も伝えていました。保守とリベラルや小さな政府と大きな政府など、選挙の基礎的な部分からわかりやすくまとめられていました。

また、下宿生で住民票を移していない参加者について、不在者投票の活用を促していました。投票済証の提示で受けられる割引の存在も伝えられており、選挙に足を運ぶきっかけをつくるような取り組みとなっていました。



POINT.3

市役所との連携でリアリティを



今回の模擬選挙では、実際の選挙さながらの体験ができるよう工夫がされてました。その工夫のひとつとして、実際の選挙で使用されている投票箱と記載台を、市役所から借りて使用していました。

実際に使用されているものを使用したことで、参加者はより選挙をリアルに感じられたのではないかと思います。市役所と連携することで、本番前に実際の選挙に近い経験を積めるようになっていました。